

事務事業名 筑紫野市青少年指導員会補助事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：612

施 策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-11-550
基本事業：	04	環境浄化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	少年の検挙・補導人数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度			平成04年度		～		新規・継続		継続		会計区分		実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）							2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市青少年指導員会							・ 青少年指導員の知識、技能の向上を図るとともに、青少年の健全育成及び非行防止活動を支援するため、補助金を交付する。 ・ 平成24年度より、各小学校区に5人以内の配置。 ・ 11小学校区で総数55人以内。 （任期2年：4/1～翌々年3/31） （令和6年4月現在で、53人委嘱済）							
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							【主な活動内容】							
青少年指導員の知識、技能の向上を図るとともに、指導員相互及び各校区間の連携を緊密にし、少年補導員会等の関係団体との協力体制を確立し、もって青少年の健全育成及び非行防止活動を推進する。							・ パトロール 小学校区での定例パトロール 少年補導員会との夜間一斉パトロール 観月会や成人式でのパトロール ・ 研修及び視察							
4．成果（簡易評価は未記入）														
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標				
教育講演会の出席者数			人	138	121	130	130			130				
巡回数			回	487	675	550	581			550				
5．コスト														
事業費			計	千円	90	90	90	90						
			国	千円		0	0	0						
			県	千円		0	0	0						
			地方債	千円		0	0	0						
			その他	千円		0	0	0						
一般			千円	90	90	90	90							
正職員人工数			人工	0.1	0.1	0.1								
正職員人件費			千円	773	782	802								
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)			千円	863	872	892	90							
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）														
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		青少年指導員会の会議（幹事会）が有効に行われたことで、各校区間で連絡事項や活動について情報共有がスムーズになされ、青少年活動を見守る体制に繋がった。 教育講演会の出席者数は若干減少したが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、巡回数は増加した。												
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）														
対象動向	維持	類似事業	なし	平成26年に、活動報告書の様式を分析・検討しやすい内容に変更した。										
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし											
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし											
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし											
成果向上余地	中程度													
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了								
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）														
青少年の健全育成、非行防止には、巡回活動をはじめ青少年指導員会の活動が重要であり、引き続き支援を続けていく。														
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄										
平成4年7月、「青少年を非行から守る全国強調月間」に併せて発足し、小学校区を中心に、青少年の健全育成に関する育成事業の推進、各種指導者との連携を図る等、青少年活動の指導を目的とする。他の青少年健全育成団体、防犯団体及びPTAとの連携が求められている。														